

アテンダントの熱意、北紀行

ねぶた 制作した立佞武多、津軽中里駅保存へ

8月9日(休)深夜、津軽中里駅にまばゆい光を放つ立佞武多が到着しました。

このねぶたは、津軽半島の魅力を広く紹介する「津軽半島観光アテンダント」6人が作ったもので、「太宰治と津軽」と名付けられた力作です。ねぶたは、最終列車運行後、津軽鉄道の軌道を使って運ばれ、午後10時22分、トロッコに乗り機関車にけん引された立佞武多が、星降る夜空をバックにその姿を現しました。

アテンダントの小枝美知子さんは「ねぶた運行の時も感動したが、また違った感動があった。(運ぶのを)2日前に決定したばかりなのに、これだけの人に集まってもらってうれしい」と話し、世界初?かもしれない列車に乗ったねぶたを、見物客が迎えました。

14日(火)開催のなかどまりまつり小泊地区では、そのねぶたが乳母タケの嫁ぎ先である金物店にも行き、小説「津軽」の名場面が再現されました。



特集 2012 なかどまりまつり

青少年スポーツ国際交流使節団

大きな財産持って帰国

まちの
話題

なにもささ踊り 秋田で披露
中里高校生 地域活動に大活躍
森と湖に親しむ集い

お知らせ

敬老会送迎バス小泊から運行
就業構造基本調査
駅ナカ!みゅーじあむオープン

2012

なかどまりまつり

■8月10～11日 中里地区

■8月14日 小泊地区

■8月15～16日 下前地区



【海上安全パレード】

過ぎゆく短い夏を惜しむ「なかどまりまつり」は、中里地区を皮切りに、小泊地区、下前地区とそれぞれ行われ、よさこい演舞やねぶた運行、海上相撲、舟こぎ競争など、地域の特色を活かした多彩な催しが展開されました。

今年は、中里地区が「駅ナカにぎわい空間」でオープニングを行ったり、小泊地区が津軽半島観光アテンド制作の立佞武多で小説「津軽」の再会シーンを演出したり、プログラム構成を変更した下前地区など、新しい試みが見られたなかどまりまつり。伝統のなにもささ踊りや太刀振りと合わせ、現代を生きる人たちのエネルギーが、まつりには凝縮されていました。



【舟こぎ競争】



【海上相撲大会】



【なにもささ流し踊り】



【歌謡ショー】



【太刀振り】



【ねぶたも中心街を練り歩く】



【AOMORI花嵐桜組 華麗に舞う】



【熱気がみなぎったよさこい中里】



【ファイナーレでエネルギーを爆発させるねぶた参加者】

大きな財産持って帰国

7月29日(日)～8月3日(金)の日程で、米国ニュージャージー州・ニューヨーク州に派遣された青少年スポーツ国際交流使節団。柔道による親善と、未来を担う子どもたちの国際感覚を養うため、派遣されたものです。

今回の派遣では、町出身で、米国五輪チームコーチや、米国柔道連盟会長などを歴任した柔道家 米塚義定氏との縁により、同氏が経営する柔道空手センター練習生と合同練習・親善試合を行ってきました。

■交流・理解という経験をした団員

使節団員は、言葉が通じない相手と練習・試合をするという、めったにない経験をしました。日本を飛び立っても「現地の練習生と理解し合えるか、言葉が通じるか」といった不安がつきまっていたようですが、彼らの感想を見ると、身振りや手振りを交え、何とか伝えようという努力が見えました。また、米国の練習生も片言の日本語で話してくる気遣いがあったようで、理解・交流することの喜びが感じられました。

子どもたちは、旅を通じて食の違いに悩まされたようですが、これもまた大きな経験の1つ。ニューヨーク市内の視察でも、世界経済の中心たるニューヨークの圧倒的なスケールを肌で感じ、それぞれにとって大きな財産を得たようでした。



【親善試合を終えて交流する使節団員と米国練習生】



【7月30日付で公式に発行された宣言 (PROCLAMATION)】

■町へも大きな財産

今回の使節団派遣では、米塚氏の計らいにより、当地役場を公式訪問する機会に恵まれました。同氏が在住しているクランフォード町では、ロビンソン町長はじめ町幹部が使節団を出迎え、歓迎のセレモニーがとり行われました。

このセレモニーでは、友好・親善の証として、使節団に対しバッジなどのほか、クランフォード町の公式旗、そして公式な「宣言」が読み上げられ、秋元使節団長に手渡されました。

この公式な宣言の中には「we look forward to a continued relationship and exchange of ideas between the residents of Nakadomari, Japan and Cranford, New Jersey. (私たちは、中泊町とクランフォードの人々が、今後も関係を継続し、交流が図られることを期待している)」と書かれており、町がこれから交流を図る上で、大きな財産をいただきました。

■親善試合



奈良翔太くん(3年)

僕は、7月29日に日本を飛び立ちました。青森空港ではいろいろなことをしました。手荷物検査など出国手続きをしました。全部はじめてやることでした。そのあと、飛行機に乗って韓国に行きました。韓国では3時間ほど自由時間があり、空港内を回ってました。韓国内には、さまざまなブランド店が入っていて、すごく興奮しました。そのほかにも、免税店がいっぱい入っていました。

そうしているうちに、アメリカに着きました。アメリカ人はゴリマッチョな人が多くて、ビックリしました。それに、夜だというのに車通りが激しく、クラクションが絶えないので、そこでもまたビックリしました。ホテルに着いたのは、なんと夜中の12時です。アメリカのバス運転手が、道に迷ってしまったからです。

いよいよ、ニューヨークに出発する時間が近づいてきました。韓国からアメリカまで行くのに、なんと13時間もかかります。機内には、トイレ、テレビゲームなどがあります。テレビゲームなどは、けっこう楽しいですよ。機内食も食べました。結構おいしかったです。隣の席の珍田くんは、すぐに寝ました。僕も寝ました。そして、起きたらまた機内食が出てきました。全然体を動かしていないので、腹が減ってません。だけど、ご飯を食べました。

そして次の日です。ビーチに行ったり、飯食ったり、練習したりと、とても忙しかったです。練習では外国人とたくさんやりました。外国人は、とても力が強くてビックリしました。それでもいい練習になりました。その日の夜はピザを食べました。おいしかったです。次の日は親善試合をしました。試合が終わり、クランフォードからニューヨークに移動しました。メトロポリタン美術館に行きましたが、とても広くて、出口がどこだか分からなくなるくらい広い美術館です。そのあと、ホテルに行つてご飯を食べて寝ました。

次の日は帰る日です。自由の女神を見たり、いろいろな場所に行き、帰国しました。アメリカはとても楽しいところでした。だけど食べ物は大変でした。今回は、とてもいい経験になりました。

7月29日(日)

町役場出発

青森空港から仁川空港(韓国)を經由
ジョン・F・ケネディ空港(米国)到着



【いよいよ米国到着】



【町長・保護者が見送り】

■アメリカに行つて



珍田拓揮くん(3年)

僕は、アメリカ合衆国に行つて楽しかったけど、とても疲れしました。まず、青森空港から日本を離れて、韓国の空港でしばらく飛行機を待つてから、ニューヨークの空港に行きました。空港のセキュリティはとても厳しく大変でした。ニューヨークに着いてからは、バスが待つていて、そのバスに乗つて泊まるホテルに着きました。ニューヨークの夜は、安心して寝られませんでした。

柔道が勝つことができてもよかったです。アメリカの子どもたちは、力がとても強く、勝てない相手もいました。でも、いい経験になりました。試合が終わったあとは、昼食をとり、ニューヨーク視察研修で、タイムズスクウェア、国連本部、デイバイン大聖堂、ダコタハウス、セントラルパークに行つたあと、クランフォードのホテルからニューヨークのホテルに行つて、3日目は終わりました。

次の日、朝ホテルを出て、クランフォード柔道空手センターに荷物を預けてから、約1時間ほどクランフォード町視察研修をして、そのあと昼食をとつてからホテルに戻つて休憩し、5時にホテルを出発して、クランフォード柔道空手センターで、練習生と合同練習をして、夕食のピザを食べてから、ホテルに戻つてこの日は終わりました。

3日目は朝食後、クランフォード柔道空手センターで親善試合をしました。親善試合では、日本の柔道が勝つことができてもよかったです。アメリカの子どもたちは、力がとても強く、勝てない相手もいました。でも、いい経験になりました。試合が終わったあとは、昼食をとり、ニューヨーク視察研修で、タイムズスクウェア、国連本部、デイバイン大聖堂、ダコタハウス、セントラルパークに行つたあと、クランフォードのホテルからニューヨークのホテルに行つて、3日目は終わりました。4日目は、ホテルで朝食を食べ、チェックアウトしてからニューヨーク市内視察研修で、メトロポリタン美術館、グラウンドゼロ、ウォール街、バッテリーパーク、エンパイアステートビルに行つたあと、ケネディ空港に着き、出国手続きをして、大韓航空にて仁川空港へ、そこから14時間も飛行機に乗つて仁川空港に到着して、空港で自由時間を6時間とり、いよいよ青森空港へ。青森空港へ着いたときは、ほっとしました。空港からバスで役場に到着して解散しました。

今回アメリカに行つて、日本とは違う文化がたくさんあり、食べるものも自分にあまり合わないところがあったけれど、とてもいい経験にもなりました。とても楽しかったのでよかったです。

■青少年スポーツ国際交流事業



大橋芽依さん(3年)

7月29日、町役場駐車場に柔道部8人が集まりました。役場前には、私たちを見送る保護者や、兄弟がズラツと並んでいて「あ、とうとう行くんだな」とワクワクと不安な気持ちでバスに乗り込みました。青森空港から仁川空港までの飛行機の機内食は、鶏肉を煮込んだようなもので、とてもおいしかったです。それから乗り換えて、ケネディ空港に向かいました。そこからバスに乗りホテルに着くと、なんとスプリングラーの故障でロビーが水浸しでした。ビックリしたけど、新鮮で楽しかったです。

た。まだ11歳の子たちでも、とても力が強くてびっくりしました。7月31日、この日は米塚先生の道場で親善試合でした。私の相手は16歳で、國士館と柔道着に書いていて少しビビりました。でも、締めで一本勝ちできました。人は見た目で判断しちゃいけないなと思いました。試合後はニューヨークへ向かいました。ビルがどれも高くて、迫力がすごかったです。美術館では、ハリー・ポッターのヴォルデモートに似た彫刻があつておもしろかったです。ホテルまでは、セントラルパーク沿いをバスで行きました。とても広くきれいで、人がたくさんいました。8月1日、フェリーに乗って自由の女神を見に行きました。真下に行くときスゴくデカくて、どうやってフランスから運んだのか不思議に思いました。そして、エンパイアステートビルに行きました。展望台から眺める景色は、霧がかかっていたけど、ニューヨークをグルッと見られて楽しかったです。時差ボケはキツかったですけど、短い時間でたくさんこれから役立つような経験ができ、企画してくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。それから、改めていろんな人たちと試合をする楽しさが分かったので、これからは柔道がんばりたいと思いました。

7月30日(月)

克蘭フォード町公式訪問

消防・警察などの見学と公式セレモニー

克蘭フォード柔道空手センターで合同練習



【米国練習生と合同練習】



【公式セレモニーの様子】

■国際交流事業



今 健瑠くん(3年)

僕は初めて、外国に青少年スポーツ国際交流事業で行くことになりました。行くところは、アメリカのニュージャージー州とニューヨーク州でした。今回は柔道で行くので、礼儀正しく行きました。青森空港から韓国の仁川空港に行き、それからアメリカのケネディ空港に行きました。日本とアメリカは、時差が13時間あり、最初はとても時差ボケしました。空港から出ると、アメリカという感じがとてもしました。次の日、ホテルの朝食はドーナツでした。日本と違って、朝から甘い物なので驚きました。朝食を終えたあと、克蘭フォードの町視察に行きました。そこでは、僕たちを招待してくれた米塚先生と一緒に行動しました。克蘭フォードの町視察では、役場と警察署、それから消防署も視察しました。役場では、克蘭フォードの町長にも会え、とても克蘭フォードの文化が分かりました。昼食はホットドッグを食べました。日本の

ホットドッグと違ってウインナーが長く、味がとてもはつきりしていておいしかったです。そのあと、いよいよ柔道場に行きました。外国の人は、予想していたとおりに力が強かったです。英語もがんばって会話しましたが、あまり通じなかつたです。米塚先生も柔道着を着てやりました。やっぱり強いなと思いました。親善試合当日、柔道場の中に入ったら、本当の試合みたいに準備をしていたので、すごいと思いました。自分の試合が近づくと、だんだん緊張してきました。いよいよ自分の試合になりました。結果は負けてしまつたけど、とても勉強になりました。練習試合を終えてから、ニューヨークにバスで向かいました。ホテルに着いたところで、米塚先生とは別れました。最終日、ニューヨークを視察し、自由の女神などを見ました。帰る時間になり、空港に向かいました。アメリカから韓国までは約14時間かかり、行きも帰りもずっと飛行機の中で、とても疲れました。今回の青少年スポーツ国際交流事業で、いろいろなことを学びました。日本とアメリカの食べ物や文化の違いも分かつたので、この5泊6日の短い期間で学んだことを、これからの生活、学校で活かしていきたいです。

■アメリカ遠征に行つて



浅野生士くん(2年)

7月29日、柔道部はアメリカ遠征に行つてきました。役場に集合し、最初に出発式をやりました。町長の小野俊逸さんから話がありました。それから記念写真を役場の玄関前で撮りました。それからバスに乗り、午前10時20分に出発しました。バスで時間が過ぎ、青森空港に着きました。飛行機でいったん韓国に行き、アメリカへ出発しました。夜8時くらいに着きました。入国審査を通過してからバスに乗り、ホテルに着きました。次の日、午前中と午後5時まで、克蘭フォード町内の見学をしました。5時30分からJKC(柔道空手センター)で練習しました。アメリカの人は力がとても強かったです。午後7時30分まで練習して、それから夕食を食べに行きました。アメリカと日本の食事はだいぶ違いました。違った点としては、米が出ないということです。私たちが普段何気なく食べている米が、アメリカでは出ないので、ちよつとした違和感を感じました。

次に、フライドポテトが結構多く出るということです。毎日のようにフライドポテトが出て飽きました。

3日目、ホテルで朝食をとりました。朝からドーナツで、キツかったです。その日は親善試合でした。団体戦で勝ちました。その日の午後いろいろな場所を見学しました。地面から空を見上げると、首が疲れるくらい建物が高くありません。日本では見たことのない高さの建物があつて、ビックリしました。いろいろな場所で記念写真を撮つたりもしました。まだ建設中などの建物もあり、どのくらいの高さになるのか想像もつきませんでした。ニューヨーク市内を見学し終わったあと、市内のホテルに泊まりました。

最終日の朝、朝食を食べ終わつたあと、部屋でゆつくりし、荷物を準備して、バスに乗つて市内を見学しました。タイムズスクウェアなどを見学し、9・11があつたところを再建した建物などを見てきて、いろいろガイドさんの説明を聞きながらいろいろ回つていくうちに、空港に着きました。出発時間まで空港を見学し、韓国経由で青森に帰つてきました。

この5泊6日は、僕にとって世界のマナーや食生活の違いなど、よい経験になりました。

7月31日(火)

柔道空手センターで親善試合
ニューヨーク市内視察
メトロポリタン美術館など



【メトロポリタン美術館】



【親善試合】

■初めてのアメリカ



坂本龍生くん(2年)

僕にとっては、初めてのアメリカでした。前日はとてもワクワクしていて、反対に不安な部分もありました。不安な部分とは、アメリカに行つてうまく交流ができるか、犯罪に巻き込まれないかなど、たくさんありました。

そして1日目が始まりました。1日目は、ずっと飛行機などでの移動でした。僕は、飛行機に乗るのは初めてでした。本当にきちんと飛ぶのかなどの不安もありましたが、きちんと飛びました。韓国の空港に着き、しばらくしてから次の飛行機に乗り継ぎました。2番目に乗った飛行機は、1人ずつ客席にテレビがついていて、あまり暇になることはありませんでした。でも、14時間の飛行はさすがに疲れました。到着後、バスに乗つて夜のアメリカを見ながら、ホテルに向かいました。ホテル周辺に着いてから、バスの運転手が結構迷つたので、少し不安になりましたが、無事到着できました。時差ボケがすごく、夜なかなか寝つ

けませんでした。

2日目が始まりました。2日目の朝はドーナツでした。たくさん食べましたが、後から腹の調子が悪くなりました。そのあと米塚先生が来て、克蘭フォードの町役場訪問に行き、警察署や消防署も見せてもらいました。見学後、またバスに乗つてビーチに行きました。青森のビーチとは違い、とても広く、人がたくさんいてすごかったです。そしてとうとう、アメリカ人と柔道の練習をしました。アメリカ人は力が強かったです。

3日目になりました。親善試合をしました。僕は負けてしまいました。この悔しさをバネにして強くなりたいです。試合後、メトロポリタン美術館を見学しましたが、たくさん展示物があり、びっくりしました。

そして最終日、自由の女神を見に行きました。自由の女神は大きくすごかったです。そしてエンパイアステートビルに登りました。とても高く、少し怖かったです。そのあと、空港に行つてまた飛行機に乗つて帰りました。

初めてのアメリカは、びっくりしたことやすごかったことがたくさんありましたが、何よりもみんな無事で帰つてきてよかったです。アメリカは勉強になり、とても楽しかったです。

■柔道inアメリカ



野上凜音さん(2年)

克蘭フォード柔道空手センター。ここは米塚義定先生が建てた道場。中に入ると、階段しかなかった。私は「畳がないところだ」と思った。階段を下りると、一面の畳が見えた。「ここで練習しているんだ」ちよつとわくわくした。大人の人がたくさんいた。「え？ みんな柔道？」と思っていたら、空手の人たちだった。あとから柔道の人たちが10人以上来て、そのうち女子は5人くらいだった。「強いのかな？ 弱いのかな？」私は早く一緒に練習したくなった。

とわくわくした。「まず右で組み、大内で崩し、背負いをかけよう。それがだめだったら、左の背負いをかけよう」と思った。はじめに団体戦のように並んだ。足に力が入った。戦闘モード。「△☆☆○×◇…。ナカサトクラブ リンネ ノガミ」米塚先生が言った。「……………はあ？」と言った。対戦相手の名前は長くて分からない。でも強そうだ。「ハジメ」「こーい!!」右手で組むと同時に、大内をかけた。相手は後ろに倒れていった。チャンス。私はすぐ寝技に入った。「オサエコミ」タイムーがない。どーやって時間を計るんだ？ しばらくしたらお手玉のでつかいのが、私の近くに飛んできた。わつと思つた。「イッポン」お手玉は、タイムーの代わりだった。あつという間に試合が終わった。もう少しやりたかった。今回、柔道を通してアメリカの人たちと交流した。不安になつてくる私に、優しく日本語で声をかけてくれた。言葉は思うように通じないけれど、一緒に笑い合える時を過ごした。住んでいるところは違うけど、心が通じた気がした。でも、食事は朝から油たっぷり、量も多くてキツかった。

8月1日(水)~3日(金)

ニューヨーク市内視察
自由の女神、グラウンド・ゼロなど
空路で青森空港へ、町役場到着



【成果を町長に報告】



【自由の女神像前】

■5泊6日アメリカへの旅



川島翔希くん(3年)

アメリカへの旅前日、行くのが楽しみだったり、飛行機に乗るのが楽しみだったり、寝られない日が続く、気づくとアメリカへ行く日になっていました。当日、保護者や町長などの見送りがあり出発した。バスで1時間数分ぐらいで青森空港に着いた。今回行くのは柔道部2年、3年生のほか、役場の人たちにコーチや添乗員も合わせ、合計14人でアメリカに行くことになりました。僕たちは、アメリカへ行くのに青森空港から仁川という韓国の空港へ行き、アメリカのケネディ空港へという道のりです。空港に着くと、もう夜中になっていました。空港で一番大変だったのが入国審査です。とりあえず、持つて行った紙を出し、いろいろ聞かれましたが、もちろん何を言っているかさっぱりで、一応クリアしました。

2日目、練習生と練習をしました。みんな力が強く、体格がいい人ばかりでした。そんな中で、負けずにはがんばりました。食事はやはりファストフードで、食べるのが少し大変でした。3日目、親善試合があり、団体戦形式にして試合をしました。いろいろあつて、5対2、1引き分けて勝ちました。その日、ホテルからチェックアウトし、ニューヨークのホテルに泊まりました。食事は、主にポテトが多かったです。この日はニューヨークのさまざまなどころに行ってみました。4日目、今日でアメリカから帰ることになります。この日は、主に自由の女神がある島に行きました。フェリーで行くときも見えましたが、やはり真下から見ると自由の女神の方がすごく圧倒的でした。この日の食事は前日とほぼ同じでしたが、アメリカで最後に食べた中華料理がとてもおいしかったです。そして、日本に帰るときがやってきました。思い出せば、食べ物は大変でしたが、練習生との練習、試合はとてもよい思い出です。今回のアメリカの旅は、たくさんの人々にお世話になりました。英語が勉強不足で、何と言っているのかも分からないし、何を言っているのかも分からない状態でした。それでも伝えたいことを英語で伝えようとがんばりました。今回のアメリカの旅を一言でいうことです。

なにもささ踊り秋田で披露

国重要無形民俗文化財「毛馬内の盆踊」にゲスト出演

8月23日(木)、秋田県鹿角市の毛馬内で行われた「毛馬内北の盆2012」に、町のなにもささ踊りがゲストとして招かれ、なにもささ保存会(会長 坂田久仁彦)の一行22人が、踊りを披露しました。



「毛馬内の盆踊」

秋田県三大盆踊りの1つ。かがり火を囲んで、2つの踊りを優雅に踊る。紋付きや留袖、訪問着などを着用し、豆しぼりで頬被りをするのが特徴。



平成10年、国の重要無形民俗文化財に指定される。

国の重要無形民俗文化財「毛馬内の盆踊」が行われる会場で、約1時間にわたってなにもささ踊りを披露した一行。最初は、なかどまりまつりでも行われる「流し踊り形式」、次に作業時に唄われたという「中里土搦唄」での踊り、最後に本来の踊り方である「輪踊り形式」のなにもささ踊りを披露し、沿道の観客から大きな拍手をもらっていました。

踊り手として参加したなにもささ保存会の三和泰子さんは「小さいときから踊っているなにもささが、このような由緒正しい盆踊りに招待を受けるとは。毛馬内は、昔ながらの雰囲気があり、踊りも静かな趣のあるもので、伝統を感じさせるものだった」と感想を話しました。

風を切る爽快さ乗馬で

中泊乗馬クラブ

皆さんは、町に乗馬クラブがあるのをご存じですか？ 中里地域の田園地帯には、サラブレッド4頭が所属する「中泊乗馬クラブ」(竹内宏人会長)があります。取材したときは、そのうち2頭のサラブレッドを走らせ、さっそうとたてがみをなびかせていました。

同クラブのクラブ長をしている山崎正貴さんに話を聞くと、この乗馬クラブは5年前から行っていたそうです。「五所川原市でクラブをやっていたんですが、事情があってやめることにしたんです。そのときに竹内会長と会い「続けませんか？」と言われ、続けることができたんです」と話します。

クラブの活動は、日本馬術連盟・県馬術連盟に加盟していることもあり、競技会の参加を目標にしているそう。乗馬を通じて「体力の向上や美容・健康もそうだが、馬をかわいがる気持ちを感じてほしい」と山崎さんは話していました。

入会手続きや会費など、中泊乗馬クラブへのくわしいお問合せは山崎さん(☎080-6029-2257)まで。



永山尚太ギター 弾き語りコンサート

農村活性化施設では8月4日(土)、シンガーソングライター永山尚太さんによるギター弾き語りコンサート「未来へ～明日へ～」が行われ、中里高校生7人がスタッフとして参加しました。

7人は、コンサート開始約2時間前に会場へ到着。イベントを行う(株)アクトプランの社員から、接客のマナーや言葉遣い、お辞儀の仕方などを教わり、就業体験さながらの打合せを行っていました。

それぞれに会場の案内係や、飲物のサービス係、チケットを切る係などが割り当てられ、訪れるお客さんをもてなしていた7人。コンサート開始前には、その7人が改めて紹介され、観客から拍手を受けていました。

コンサート中は、永山さんの透き通るような声に魅了されたお客さんたち。アンコール前には、有名なBEGINの曲「島人ぬ宝^{しまんちゅ}」を歌いましたが、高校生たちが一緒に「イーヤーサッサ」とかけ声を入れ、盛り上がるうちにコンサートは終了。最後の見送りまで、スタッフの高校生は大活躍でした。

参加した3年の女子生徒は「接客のいい勉強になった。永山さんの歌には感動。うまくて、トリハダが立った」と興奮気味に話していました。



若いチカラで
地域を元気に

中里
高校生

さまざまに活動に大活躍

畑の学校・食卓の学校に 高校生まちづくり塾生が参加

8月5日(日)には、今年2回目の高校生まちづくり塾が行われ、塾生19人が参加しました。

今回のまちづくり塾は、グリーン・ツーリズムの会「かけはし」が行っている「畑の学校・食卓の学校」の3回目とタイアップして行われ、かけはしの会員と高校生が、田中恵津子さん(若宮地区)の農園で、野菜の収穫体験を行いました。

19人が収穫したのは、トウモロコシ、ナス、ピーマン、ジャガイモといった野菜で、特にナスやピーマンは、見たことがないほどの巨大さにびっくりしたよう。暑い中での作業でしたが、高校生は次々と手際よく作業をしていました。

収穫した野菜は、お昼のバーベキュー用に女子生徒が料理。男子は火おこしをやって、準備を整えました。会員も混じって行われたバーベキューでは、焼かれた肉や野菜と一緒に食べながら、今日の作業を振り返っていました。

去年に引き続き参加した男子生徒は「ナスの収穫では、大きな葉に隠れて探すのが大変だった。農作業を通して、地元を知るいい機会になった」と手応えを感じていました。



日独スポーツ少年団と 英語でデイスカッション

8月6日(月)には、漁火センターで行われていた日独スポーツ少年団交流に、13人の生徒が参加。そば打ち体験とデイスカッションを行いました(関連記事20ページ)

はじめに行われたそば打ち体験では、熊本小泊支所長が講師となり、そばの打ち方を実演。ドイツ交流団員と中里高校生が混じって4グループに分かれ、お昼に食べる



そばを打っていきます。

そば打ちは、そば粉に水を混ぜてかき回すところから始まり、粘土状にしたものを伸ばして最後に包丁で切るといった流れになります。そこにとどり着くまではいろんな作業が必要で、うまくいかずに苦労していました。それでも、そのグループごとにお互いに手伝いながら、おいしいそばを完成させていました。お昼には、そば打ちの感想を話しながら、そのそばを食べ、互いに交流していました。

午後は「今、私たちにできる社会貢献スポーツ活動で何ができるのか」をテーマに、ドイツの交流団員と議論。最初は日本、ドイツお互いの学校や、スポーツ活動に関するプレゼンテーションを行い、3グループに分かれてデイスカッションしました。中里高校生、ドイツ団とも、お互いに慣れない英語を使つての議論でしたが、リーダーの進行に従つて意見を出し合い、最後に成果を発表していました。

デイスカッション終了後には、記念のプレゼント交換も行った両者。議論を通して交流が深まったようでした。

学校のプレゼンを行った3年生の秋田真悠さんは「(英語を)ゆつくり話すと分かってくれ、理解もしやすかった。自分が話した言葉にうなずいてくれ、通じることが楽しかった」と英語でのコミュニケーションを楽しんだようです。

灼熱の列車内でも 元気に接客

8月5日(日)午前中に、2回目のもちづくり塾で農業体験をしてきた生徒たち。その足で午後は「のれ!それ!中里実行委員会」が行っている「真夏のストーブ列車」運行を手伝い、地域づくり活動の一端を体験しました。

午後2時30分に津軽鉄道津軽五所川原駅に到着した高校生たちは、出発セレモニー後、列車へ乗車。中は

蒸し風呂のような暑さで大変でしたが、そこは若い高校生らしく、元気に乗客をおもてなし。駅を出発後、車内での飲物販売や、するめを焼いたりなど、元気に動き回っていました。

約50分の運行を終え、津軽中里駅に着いた高校生は、ここでも物産販売



を応援。乗客たちが津軽中里駅を出発して折り返すときには、主催者スタッフとともに、手を振って見送りもしました。若いパワーで暑さを吹き飛ばす活躍をした高校生たち。2年生の若山悠太くんは「ストーブ列車はとても暑かったけど、イカ販売などお客様と接することがとても楽しく、また非常に喜んでくれてうれしかった。大変だったけど、貴重な体験をした」と話していました。

家族や地域とふれあう機会に

静和園夏まつり

園と家族会が主催して8月2日(木)、町特別養護老人ホーム「静和園」で夏まつりが開かれ、入所者約50人が玄関前に集まり、まつりを楽しみました。

毎年恒例となっている祭りでは、ボランティアによる出店のほか、さまざまな催しを企画。中里横笛愛好会がオープニングを飾り、今年も健康ダンスグループ「べえ子ちゃん」のダンスや、中里三味線会の唄と踊り、そしてよさこいグループ「夢幻天舞」による演舞が披露されました。さらに今年は、新企画として小学生対象のジャンケン大会も開催。子どもたちのはしゃぐ声に、入所者の皆さんも目を細めていました。



森の機能を学ぶ交流会盛大に

西北地区緑の少年団交流会

宮野沢地区にあるふれあいセンターで8月1日(木)、西北地区の緑の少年団が一堂に会し、交流会が行われました。

20年近く行われているというこの交流会は、今回初めて町で開催。約300人も少年団員が、12班に分かれ、ウォークラリーと木工教室を交互に行いました。

駐車場で行われた木工教室では、県産材でのイス作りを体験。トンカチを使って、子どもたちは一生懸命作っていました。

一方ウォークラリーでは、6つの仕切られたエリアでさまざまなチャレンジを体験。虫探しやクイズ、フィールドビンゴ、ゲームなど、さまざまな催しに笑い声が上がっていました。

思い思いの筆走らせ

中央公民館で金魚ねぶたづくり教室

毎年恒例となっている金魚ねぶたづくり教室が、今年も7月30日(月)・31日(火)の2日間にわたって開催され、15人が参加しました。

古川敏夫さんが講師となって2日間行われる教室では、初日に骨組みや紙貼りなどの作業を行い、2日目に貼った紙への下書きと色塗りを行いました。参加者は、色とりどりのオリジナルねぶたを完成させていました。

今年初めて参加したという中里小5年の前田快人くんは「尾ひれを作るのが難しかったけど、楽しかった。野球部の部室に飾りたい」と話していました。



大きなじゃがいも掘り当てビックリ

小泊保育所児童がじゃがいも掘り体験

農村活性化施設横の体験ほ場で8月21日(火)、小泊保育所の年長児11人がじゃがいも掘りを体験しました。

体験ほ場で一緒にいも掘りをしたのは、グリーン・ツーリズムの会「かけはし」の会員8人。5月31日に会員が植えたものを、子どもたちと一緒に収穫しました。

体験では、つるを引っ張って、中のじゃがいもを掘り起こし。巨大なじゃがいもに、歓声を上げて喜んでいました。

作業後、粉ふきいもとスイカを食べた子どもたちは「掘るのは楽しかった」「デカいのが取れてよかった」と体験を楽しんだ様子でした。

ダム探検とイワナつかみ取り

森と湖に親しむ集い

小 泊ダム下の遊仙公園で8月1日(水)、子どもたちに森林やダムを理解してもらおうと「森と湖に親しむ集い」が行われました。

この集いには、小泊小の4・5年生20人のほか、西北地域県民局や津軽森林管理所金木支署の職員などが参加。午前中にグラウンドゴルフや丸太切りなどの体験を行いました。

午後はダム内の管理用通路を探検。外は30度に迫ろうかという暑さでしたが、通路内はエアコンが効いたような涼しさで、しばし暑さを忘れていました。ダムから出ると、メインイベントのイワナつかみ取り。川の中に裸足で入り、なかなか捕まらないイワナを追って歓声を上げていました。



熱い中で熱戦展開

第7回西つがる北五ブロック小学校陸上競技記録会

運 動公園で7月29日(日)、第7回西つがる北五ブロック小学校陸上競技記録会が行われ、町内外の選手500人が出場しました。

うだるような暑さの中で行われた大会では、小学校選手のほか、未就学の子どもたちも力走。多くの上位入賞者が出ていました。

- 男子…1年100m 1位 外崎隼矢(中里クラブ)、2位 成田来河(中里クラブ) / 2年100m 1位 小野倅太郎(中里クラブ)、2位 松谷温翔(中里クラブ)、3位 久保田希空(小泊クラブ) / 3年100m 1位 米塚孔喜(中里クラブ)、3位 佐野凱春(中里クラブ) / 共通男子200m 3位 越野彪雅(中里J)
- 女子…未就学児50m 1位 古川郁子(中里保育所)、3位 中畑萌乃(中里保育所) / 1年100m 2位 中畑里穂(中里クラブ) / 2年100m 2位 太田那琉(小泊クラブ)



広告

既にお支払いの終わった方も10年以内であればお金を取り戻せる場合があります！

任意整理・過払い金返還請求
個人再生・自己破産

借金問題解決致します

「借りたのは自分だし…」「借りたものは返さないと…」
「悪いのは自分だから…」と自分を責める前にまずはご相談を！
既に亡くなった方にも過払い金が発生している場合があります！無料で過払い金の有無をお調べ致します。

完済案件は着手金無料 ■着手金は分割払い可(1社18,900円)
■成功報酬は後払い

- 借金を減額した上で、元金のみ分割払いを目指します。
- 過払い金返還高額目標(書類なし、記憶が曖昧でも大丈夫!無料で調査)
- ご依頼者のプライバシー厳守 ●費用分割払いOK
(ご家計の収支状況を伺いしつつお支払方法を柔軟に対応致します。)



これまでに津軽における相談会を10回以上開催しております。ご年配の方、お忙しい方にはご都合に合わせてお話を伺いに参りますので、お気軽にお電話下さい。ご相談は無料です。

弁護士 中島賢悟 東京弁護士会所属登録番号34985号

まずは
お電話
下さい



0120-113-314

ご予約受付時間 平日・土日祝日/10:00~20:00

セキュアトラスト法律事務所

東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC第一ビル5F TEL.03-5774-1521(代表) Mobile http://saimu0.net (24時間受付)

中泊町役場 ☎57-2111
 小泊支所 ☎64-2111

町からのお知らせ

問 問合せ先 内 内線番号
 ☎ 電話番号 HP ホームページ

敬老会送迎バス 小泊地域から運行します

問 役場福祉課福祉推進係 内 122

時刻は次のとおりです。どうぞご利用ください。

○9月17日(祝)

- 小泊老人憩いの家 午前8時15分
 - ↓小泊漁協前 午前8時25分
 - ↓下前上バス停前 午前8時40分
 - ↓下前漁協前 午前8時45分
 - ↓折戸バイパス停留所 午前8時55分
 - ↓町体育センター着 午前9時35分
- 帰りは、午後1時45分を予定しています。

平成24年度下半期 犬の登録と狂犬病予防注射

問 役場環境整備課衛生係 内 235 問 小泊支所 ☎ (64)2111

下半期の犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。まだ登録及び注射をしていない犬の飼い主は、都合のよい場所で受けてください。

すでに犬の登録をしていますが、まだ狂犬病予防注射を受けていない場合は、ハガキで通知します。

○登録料(新規)…1頭につき3,000円(一生に1度限り)

○注射料…1頭につき3,000円(年1回接種)

■日程

月日	地域	実施場所	実施時間
10月7日(日)	中里地域	町役場前	8:40 ~ 8:50
		福祉センター前	8:55 ~ 9:05
		宮野沢研修センター前	9:10 ~ 9:20
		深郷田深寿荘前	9:25 ~ 9:35
		大沢内克雪センター前	9:40 ~ 9:50
		豊島農村婦人の家前	9:55 ~ 10:05
		武田公民館前	10:10 ~ 10:20
		田茂木防災センター前	10:25 ~ 10:35
		豊岡和栄会館前	10:40 ~ 10:50
		尾別老人憩いの家前	10:55 ~ 11:05
		グループホームやすらぎの里前	11:10 ~ 11:20
		元協和分校前	11:25 ~ 11:35
	若宮保健福祉館前	11:40 ~ 11:50	
	内瀧公民館前	11:55 ~ 12:05	
	今泉泉寿荘前	12:10 ~ 12:20	
	小泊地域	小泊保健センター前	13:30 ~ 13:45
新町1久保田敏則宅前		13:50 ~ 14:00	
上町角田石油店横		14:10 ~ 14:15	
小泊支所前		14:20 ~ 14:35	
		下前漁協前	14:50 ~ 15:05

*都合により実施場所へ来られない人は、内容によっては出張に応じることも可能です。役場環境整備課または小泊支所へご連絡ください。

就業構造基本調査 調査員がうかがいます

問 役場総務課企画係 内 162

仕事の状態や就業の希望などを調べる「就業構造基本調査」が、全国一斉に行われます。

■基準日：10月1日(月)

■対象者：15歳以上

調査の対象となる世帯には、9月中旬旬頃から調査員がご自宅にうかがいます。ご協力をお願いします。

この調査から得られた結果は、国・県などの雇用政策や経済政策など、重要な基礎資料として活用されます。

調査内容は秘密が守られ、統計以外の目的に使用されることは一切ありません。

10月1日は

固定資産税 3期
 国民健康保険税 3期

の納期限です。忘れずに納めましょう。

※口座振替をされている人の引き落とし日は9月25日(火)です。残高をご確認ください。

問 役場税務課課税係 内 144・145

心配ごと相談 中泊町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
9月26日 葛西嘉四次、秋元武弘	9月19日 長内エツ子
10月10日 横山光枝、塚本初子	竹谷利男
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時～午後2時	相談場所 日本海漁火センター 相談時間 午前9時～午後2時

なんでも行政相談

日時…9月19日(水) 午前9時～12時
 (毎月第3水曜日)

場所…中央公民館

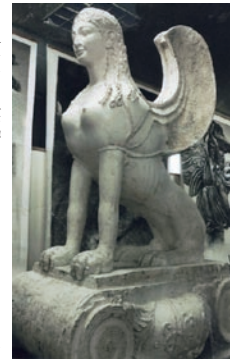
行政相談委員…秋元武弘・藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあつせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。



彫刻家 田村進氏制作の彫刻や壁画を中心に、太宰治・平田小六など、町ゆかりの作家を対象とした展示を行い、町内各地にある関連作品・石碑を紹介しています。

■開館時間：午前10時～午後2時



「駅ナカ!みゅーじあむ」オープン
 関 役場水産観光課 ☎(04)2111

県民のための便利な手帳
「平成25年版青森県民手帳」
 予約受付中!

関 役場総務課企画係 内 162

■本体
 ■青森県のイラストマップ
 ■年間・月間・週間予定表
 ■過去5年間の天気
 ■東京都周辺地下鉄路線図
 ■青森県市町村区画図

■別冊
 ■資料編 県の概要、都道府県・市町村の主要統計、市町村紹介
 ■名簿編 議員名簿、県内主要官庁等所在地、都道府県県庁所在地
 ■生活編 暮らしの相談窓口、ふるさとの主な行事、「道の駅」案内 など

便利な別冊には
青森県の統計データ
県内イベントカレンダー
各種相談窓口などを掲載!

■10月下旬発売
 ■ページ数 約156ページ
 ■価格 500円(税込)
 ■色 黒、青、緑、赤、ベージュの5色

■予約は9月28日(金)まで受け付けています。希望する人はご連絡ください。

自然に親しみ郷土の歴史を訪れる講座を行います。参加を希望する人は、中央公民館までご連絡ください。

■日程：10月20日(土)
 中央公民館前集合(公民館バス)午前8時30分出発↓西目屋白神ビジターセンター・巨大スクリーンで白神山地の映画鑑賞(昼食)↓暗門の滝散策↓中央公民館・午後5時30分到着予定

※悪天候などのときは、中止する場合があります。

自然探索講座参加者募集!
 関 中央公民館 ☎(04)2341

■対象：町民
 ■募集人員：30人(募集人員に達し次第締切)
 ■申込締切：9月26日(水)
 ■持ち物：昼食、飲み物、タオルなど

■参加料：傷害保険料100円、ビジターセンター映画鑑賞料200円、バス駐車料(2,000円を参加者で負担)

■日時：10月3日(水)～5日(金)
 午前9時～午後5時

■技能講習会
 小型移動式クレーン運転

■場所
 学科：西北労働基準協会
 実技：齋勝建設(株)構内

■受講資格：満18歳以上

■締切：10月23日(火)か定員40人に達し次第締切

※くわしくは西北労働基準協会まで。

法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の申告には電子申告が便利

関 西北地域県民局県税課 ☎(34)2111 内 208

県では、インターネットによる法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の電子申告受付を行っています。

電子申告は、
 ①オフィスや自宅のパソコンから申告できる↓窓口へ行く必要なし
 ②複数の地方公共団体へ申告がまとめて申告可能
 といった便利なものです。ぜひご利用ください。

図書館情報

今月のMiniコレクション

○映画・ドラマの原作本の展示・貸出を行います。

新刊情報

- 『冥土めぐり』(第147回芥川賞) 鹿島田真希 河出書房新社
- 『東京プリズン』 赤坂真理 河出書房新社
- 『彼女の存在、その破片』 野中 柊 小学館
- 『ひなこまち』 島中 恵 新潮社
- 『ロスジェネスの逆襲』 池井戸潤 ダイヤモンド社

本の寄贈

藤元徳造さん(五所川原市) 青春の獅子掲載 ほか20冊ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

臨時休館のお知らせ

蔵書点検のため、10月9日(火)～10月13日(土)まで図書館を休館します。

ナイターテニス教室開催

問 町体育協会テニス部
 ☎ 090(1525)1662(奈良)
 ☎ 090(2270)9284(田中)

硬式テニスに興味のある人、硬式テニスをやったことのない人からレベルアップしたい人まで、多数の参加をお待ちしています。

■日時：9月18日(火)～21日(金)
 午後7時～9時

■場所：町運動公園テニスコート

■対象者：誰でも(小さい子は保護者同伴でお願いいたします。町外でも可)

■参加料：無料
 各自ラケットやタオル・飲み物をお持ちのうえ、当日テニスコートにお集まりください。ラケットのない人には、お貸しします。

**事業主の皆さまへ
 新規高校卒業予定者の募集・採用をお願いします**

問 ハローワーク五所川原
 ☎ (34)3171(求人企画部門)
 31# 専門援助部門 42#

平成25年3月にハローワーク五所川原管内の高校卒業予定の生徒で、就職を希望している生徒は498人です。こ

のうち、県内就職を希望している生徒は235人います。

しかし、青森労働局調査での管内事業所の採用予定総数は、わずか48人分にとどまっています。希望する生徒の多くが、地元企業就職を諦めてしまうことが予想されます。

将来有望な人材確保・育成は、地域経済に必要不可欠で、ハローワークでは1人でも多くの人材採用を検討していただきたいと思っております。

採用予定がある事業所は、早期にハローワークを活用されるようお願いいたします。

■各事業所で募集・採用される際は、事前にハローワークへ求人提出をお願いいたします。

■推せん開始は9月5日(水)以降、採用選考開始は9月16日(日)以降となります(採用内定後の取消はしないようお願いいたします)
 ※くわしくはハローワーク五所川原にお問合せください。

**女性弁護士による
 女性のための法律相談**

問 アピオあおもり相談室
 ☎ 017(732)1022

県男女共同参画センター

(アピオあおもり)では、毎月第2、4火曜日に無料法律相談(面接相談)を行っております

が、このたび、青森市以外の津軽地域でも年3回実施することになりました。

■日時：10月23日(火)
 午後2時～午後4時

■場所：弘前市民参画センター
 ■定員：3人

■相談時間：1人30分程度
 ■条件：相談を受けるには「事前の電話相談」と「弁護士による相談の必要性を認められる」ことが必要です。まずは問合せ先にお電話を(相談時間 午前9時～午後4時 水曜日)

※法律相談(面接相談)は1人1回までで、定員を超えた場合は対応できないことがあります。

**全国一斉
 法務局休日相談所開設**

問 青森地方法務局五所川原支局
 ☎ (34)23330

五所川原支局では、土地や建物の登記、土地の境界、人権擁護、地代・家賃の供託など、日常生活でのさまざまな心配ごとに対する休日相談所を開設します。

■日時：9月23日(日)
 午前10時～午後4時

■場所：青森地方法務局五所川原支局
 ■相談料：無料

■相談員：法務局職員など
 ※ご相談の秘密は厳守します。

**「法の日」
 司法書士法律相談会**
 問 青森県司法書士会
 ☎ 017(776)8398

10月1日は「法の日」です。日常生活での困りごとや法律上の悩みに、司法書士が無料で相談に応じます。お気軽にご相談ください。
 ■日時：10月5日(金)
 午後5時～8時

■相談内容：多重債務・相続・登記・成年後見・裁判所提出書類作成など
 ■受付：当日先着順
 ■会場
 ・青森会場：県司法書士会館
 ・弘前会場：弘前市総合学習センター
 ・五所川原会場：エルム文化センター

■県司法書士会総合相談センターでの相談
 10月1日(月)～4日(木) 午後5時～8時 県司法書士会館
 相談は無料ですが、具体的な手続きが必要な場合、別途費用がかかりますのでご確認ください。

静和園だより

・花柳穂紀桜会

7月22日(日)慰問に来られ、創作演舞など全10演目を披露していただき、入所者も大変喜んでいました。



慰問

寄贈 山本市蔵(五所川原市) ……トマト4箱

☎69-1111

◆特別展「孤高の水彩画家・守谷俊亮」開催！



五所川原市在住の水彩画家「守谷俊亮」作品を紹介する企画展。大正8年(一九一九)山形県に生まれた俊亮は、全国を流浪の末、五所川原市に居を構え、以来50年以上にわたって創作活動を続けてきましたが、昨年92歳で永眠しました。

昭和37年(一九六二)「河北展」入選を皮切りに、数々の賞を受賞しましたが、中でも平成元年(一九八九)から「水彩連盟展」3年連続入選、平成2年(一九九〇)「津軽美術展」最優秀賞受賞、同年から「新槐樹社展」3年連続入選、平成12年(二〇〇〇)「郵政省絵手紙コンクール展」文部大臣奨励賞などが特筆されます。

風景画から動植物、写実画から抽象画まで幅広くこなしまし

たが、特にはがきをキャンバスとする「はがき絵」を得意とし、多数の作品を残しています。

■日時：9月25日(火)～10月14日(日)午前9時～午後4時45分

■休館日：毎週月曜・第4木曜・祝日

■入館料：通常料金(一般200円、高校・学生100円、小・中学生50円)



◆平成24年度博物館実習！

8月1日(水)から11日(土)まで、学芸員養成課程の一環として博物館実習が行われました。今年度の実習生は、弘前大学青山紫穂さん(今泉出身)と、弘前学院大学藤元温子さん(金木出身)の2人でした。

日常的な博物館の仕事体験・資料の取り扱いといった基礎的な内容から、企画立案・ことも教室開催など、より実践的なものまで、約2週間にわたって実習しました。実習にご協力いただいた来館者・こども教室参加者の皆さまに、この場を借り

てお礼申し上げます。



◆博物館子ども教室開催予定！

Kids	
放課後子ども教室「博物館たんけん隊」開催予定(変更の場合有)NEW!	
8月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
■	午前・午後
■	午前のみ
■	午後のみ

8月から博物館ホームページでは「博物館子ども教室」の間予定表を掲示しています。どうぞご利用ください。

町博物館ホームページ
http://www.2.town.nakadomari.aomori.jp/hakubutsukan/

119 消防&救急

台風や集中豪雨 要注意！

台風や低気圧、前線の影響で、大雨・暴風・高波・高潮が発生し、各地で毎年のように風水害による土砂崩れなどが発生しています。

最近ではゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨で被害が多発しています。

大雨による河川の増水や道路の冠水は、予想を超える速さでやってきます。被害を最小限に抑えるためにも、次のポイントをチェックしましょう。

- ①事前に付近の危険箇所を把握しておく
- ②排水溝の点検(掃除)や土のうの準備をする
- ③ラジオ・テレビなどで情報収集する
- ④日頃から避難場所や連絡方法などを家族と話し合う



雷は非常に危険！

大気不安定なときは、局地的上昇気流によって積乱雲が発生し、数分後には落雷の危険性があります。

雷注意報が出されている場合、登山やハイキング、海や川での釣りなどは、中止にしましょう。

また雷が発生した際、木の下や高台にいる人は、速やかに安全な場所に避難し、雷が止むのを待ってから行動しましょう。





中里 ☎(07)3920
小泊 ☎(04)3748

田中さん親子が優秀賞入賞!!

〜母子のよい歯のコンクール〜



「母子のよい歯のコンクール」は、歯科保健への関心を高めることを目的に、3歳児の歯科健診の結果で、健康な歯を持つお子さんとお母さんを選出するコンクールです。1次審査は、各保健所ごとに行われ、7組の親子を選出。コンクールの県大会ともいえる2次審査が、7月7日(土)、青森県歯科医師会館で実施されました。町からは、田中煌士くん・好乃さん親子がエントリーし、1次審査で最優秀賞、2次審査で優秀賞に輝きました。田中さん親子は、11月に行われる「平成24年度青森県歯科保健表彰式」で表彰されることになっています。

なお、来年度からは「親子

のよい歯のコンクール」と名称を変え、お父さんも対象となります。家族みんなで、虫歯予防コンクール出場を目指しませんか。

お母さんの体験記

私は、小さい頃に虫歯で歯医者に通ったことがあり、怖くて痛いイメージがあったので、息子には虫歯になってほしくないと思っていました。なので、小さい頃には泣いて歯みがきを嫌がるときもありましたが、夫と協力して朝昼晩3回の歯みがき、仕上げみがきを丁寧に行いました。歯を強くするために、夜のフッ素も欠かさずにやりました。

地区大会では、優勝すると思っていなかったのですが、最優秀賞で名前が呼ばれたときには、今までやってきたことが報われた気がしてとても嬉しく思い、家族3人で喜びました。県大会では優勝できず、優秀賞で少し残念でしたが、入賞できてよかったです。

歯は一生使うものなので、これからも今まで以上に歯みがき、仕上げみがきをがんばって、むし歯のない歯を維持していきたいと思えます。そして、フッ素を欠かさず、強い歯を作りたいと思います。

うつ病はとても身近な病気

うつ病は、過度のストレスや疲労の蓄積などさまざまな生活体験がきっかけとなり、こころのエネルギーが低下する病気です。日本では、15人に1人が生涯に一度はうつ状態を経験するといわれるほど身近な病気です。

うつ病を疑うサイン

- * **自分が気づくからだの変化**……疲れやすく元気がない/食欲低下/寝つきが悪くなる/気分が沈む/涙もろい、イライラする/集中力・判断力・記憶力低下/心配ごとが頭から離れない/自分を責め自分は価値がないと感じる など
- * **周囲が気づく変化**……以前に比べ表情が暗く元気がない/体調不良の訴えが多くなる/遅刻・早退・欠勤が増加/仕事や家事の能率低下/周囲との交流や外出を避ける/飲酒量増加 など

うつ病とアルコール依存症……うつ状態の人の中には、「不眠」「アルコール量増加」が見られる傾向が多くあります。落ち込んだ気分を和らげようと少しずつアルコール量が増えていき、アルコール依存症に陥ることが少なくありません。また、寝酒としてアルコールに頼りがちですが、逆に睡眠を妨げて不眠を悪化させ、寝付けないために更なる飲酒へと悪循環に陥ってしまうことも。うつ病・アルコール依存・不眠は、お互いに悪影響を及ぼしあうため、注意が必要です。

早期発見・早期治療が大切な人の命を守ります……自殺した人の9割以上にこころの病気があったといわれています。ところが、実際に医療機関で治療を受けていた人は、そのうちの2割に過ぎないそうです。がんや生活習慣病と同じように、早期発見・早期治療が大切です。

こころの健康に気を配っていますか？

これまで、私たちの命を脅かすものとして、がん・心臓病・脳卒中の3大疾病が大きく注目されてきました。ところが最近では、自殺による死亡が全国的にも増加し、死因の上位を占めるようになってきており、深刻な社会問題となっています。

からだの病気と同じように、こころの病気や自殺は、いつ自分や周囲の人に起きてもおかしくない問題です。日頃からこころの状態をおろそかにしないこと、また困ったときは一人で悩まず、誰かに相談するなど、周囲の助けを借りることが大切です。

9月10日〜16日は自殺予防週間

心の健康づくり講演会

心のバランスを保つためのヒント、一緒に学んでみませんか？保健センターでも、心の健康相談を実施しています。気軽にご相談ください。

講師	日時	場所
講演「コミュニケーションについて 〜聴くことの大切さ」 青森中央短期大学 看護学科教授 岡崎 勝博 先生	9月11日(火) 午後1時30分～	中里保健センター
	10月2日(火) 午後1時30分～	小泊保健センター
講演「音楽で心も体もリフレッシュ♪」 NPO法人青森音楽療法研究会 佐々木 純子先生	10月29日(月) 午後1時30分～	中里保健センター

中泊町の行事カレンダー

9 月			10 月		
16	日	9:00~ 西北五陸上競技選手権大会2日目 (運動公園)	1	月	10:00~11:30 運動教室(中央公民館)
17	月	10:00~ 敬老会(体育センター)	2	火	13:30~ 心の健康づくり講演会(小泊保健センター)
18	火		3	水	12:50~ 2歳6か月児歯科健診(中里保健センター) 13:30~ 子育て講演会(中里子育て支援センター)
19	水	13:00~14:00 健康相談(小泊保健センター) 15:00~16:00 健康相談(すくすくしたまえ館)	4	木	
20	木	10:00~12:00 こころの相談日(中里保健センター)	5	金	
21	金		6	土	
22	土		7	日	
23	日	9:00~ 町民グラウンドゴルフ大会(運動公園)	8	月	9:30~ レッツウオークなかどまり(中里地域)
24	月	10:00~11:30 運動教室(中央公民館)	9	火	
25	火	~10/14 特別展「一孤高の水彩画家— 守谷俊亮「はがき絵」展」(博物館)	10	水	10:00~12:00 こころの相談日(中里保健センター)
26	水		11	木	
27	木	乳児健診(中里保健センター)	12	金	10:00~ 高齢者教室(中央公民館) 10:00~ 機能訓練教室(中里保健センター)
28	金	10:00~ 機能訓練教室(中里保健センター)	13	土	
29	土		14	日	13:30~ 高濱正伸家庭教育講演会(パルナス)
30	日		15	月	10:00~11:30 運動教室(中央公民館) 10:00~12:40 献血(中里高校前) 14:00~16:30 献血(町役場前)

越野 さおり (新町二)
 今村 奈穂樹 (五所川原市)
 河村 美雪 (八戸市)
 川山 雄一郎 (新町二)
 山谷 ひかる (つがる市)
 鈴木 涼平 (花丘町)
 藤田 香織 (五林)
 渋谷 大樹 (つがる市)
 山田 理奈 (向町上)
 佐々木 陽平 (板柳町)
 秋元 美鈴 (薄市上)
 田沢 知将 (むつ市)
 野上 聡子 (下高根)
 町屋 拓光 (七戸町)
 福島 恵子 (深郷田上)
 石渡 亮太 (神奈川県)
 小寺 千秋 (薄市下)
 三浦 正 (大鰐町)
 加賀田 まどか (豊島)
 一戸 寿哉 (五所川原市)



ご結婚おめでとうございます

成田 維風 (男・耕平) 薄市下
 田中 龍真 (男・憲) 豊島
 中村 龍真 (男・光) 宮野沢



お誕生おめでとうございます

戸籍の窓口

(7月届出分)

中山 正治 70 (小泊派立)
 角田 トミイ 88 (下前浜)
 長内 かちよ 91 (小泊派立)
 和田 二郎 74 (下前上)
 和藤 八郎 92 (入舟町)
 北野 カツ幸 81 (上温町)
 横山 勝次郎 81 (深郷田下)
 館野 傳次郎 88 (深郷田下)
 荒関 忠則 79 (派立上)
 鈴木 利子 84 (田茂木)
 西田 リエ 100 (向町上)
 米塚 繁エ 75 (二夕見)
 佐藤 アキエ 80 (芦野)
 杉山 均 76 (竹田)
 阿部 兼吉 79 (深郷田下)
 葛西 光義 72 (尾別)
 葛西 スズイ 81 (薄市上)
 外崎 トクエ 94 (宮野沢)
 珍田 京 84 (宮川)



お悔やみ申し上げます

赤石 悠乃 (愛知県)
 赤石 和弥 (下前上)

人のうごき

7月末現在(前月比)

人口	12,920人(+16)
男	6,095人(+3)
女	6,825人(+13)
世帯数	5,176戸(+14)
出生	4
死亡	19
転入	28
転出	20

※住基法改正に伴い、今月から外国人23人分が算入されます。

大人の仲間入りを祝う町成人式が、8月15日(水)パルナスで行われ、78人の新成人が出席し、関係者や中学校恩師が門出を祝いました。

式典では、古川政昭教育委員長が「今日のよき日を節目に、自分の果たす役割、すべきことをしっかり考えてほしい」と式辞を述べ、最後に新成人を代表して田中侘奈さんが「震災で人と人とのつながりの大切さを強く感じた。多くのお出合いを大切に、人間として成長していきたい」と誓いの言葉を述べました。

第2部では、恩師のビデオレターが紹介されたあと、津軽半島観光アテンダントの大川さんと竹内さんが登場。「成人の主張」コーナーや、町の魅力を伝えるマジカルバナナなどを行って楽しみ、新成人を祝福していました。



ドイツの交流団が日本文化を体験

日独スポーツ
少年団同時交流



日本とドイツのスポーツ少年団同士の交流を図ろうと行われる全国一斉の事業が、8月4日(土)～8日(水)小泊地域で行われ、ドイツの団員7人と団長団3人、通訳2人がやってきました。

初日に漁火センターで歓迎レセプション、次の日に受け入れたホストファミリーと終日行動したドイツ団一行。五所川原市の立佞武多を見に行ったり、海に行ったりなどし、楽しんだようでした。

6～7日の2日間は、本

格的な交流プログラムを実施。6日(月)は中里高校生とともに、そば打ちの体験やディスカッションのほか、地元の子どもたちと剣道での交流を行いました。また7日(火)は、小泊権現太鼓の体験やアロマセラピーなどで、ドイツ団員も大いに楽しんだようでした。

多彩なプログラムで交流した一行は、8日(水)にホストファミリーなどに見送られ、町をあとにしました。

